



夢への飛躍

金沢桜丘高校いしかわニュースーパーハイスクールだより



令和3年度 第2号
編集：NSH推進課
発行責任者：正村 泉一

県内在住外国人との交流研修

7月10日、2年人文科学コースの生徒を対象に、ALT（外国語指導助手）5名・CIR（国際交流員）3名と交流研修を行いました。「外国語運用能力の向上を図りながら、異文化理解を深める」というのが研修のねらいです。1グループにALTまたはCIR1名という実践的な環境で、生徒たちは生きたコミュニケーションを満喫しました。

＜第一部 スクールツアー＞

生徒が学校内の数カ所を外国人に案内説明し、質問応答を通して、文化の違いを見つけました。中にはCIRに書道を体験してもらい、額にしてプレゼントしたグループもありました。

＜第二部 発表準備＞

スクールツアーで見つけた文化の違いの中で興味深かったものを3つ選び、ホワイトボードにまとめました。

＜第三部 グループ発表＞

グループ間で発表及び質問応答をして異文化理解を深めました。発表は2回行い、合計3カ国について学ぶことができました。



●生徒の感想

- ・英語に対し苦手意識を持っていたが、多少文法が正しくなくても相手に伝えようと努力すれば、相手に意図が伝わるから、積極的に話すことが大切だと分かった。
- ・異文化の人と話すのはこんなに楽しいことがわかった。もっと外国の人と話してみたい。この研修に参加できて本当に良かった。
- ・当たり前だと思っている日本の文化が他の国から見ると不思議に感じられたりするのだと実感した。日本の中でも文化や認識の違いがあると思う。それについても調べてみたい。
- ・話そうと思っても、どう言っているのかわからなくて伝えられなかったことが悔しかった。1分1秒でも多く英語に触れて、どんどん自分の英語力を高めていきたい。英検・GTEC・TOEICなどにも挑戦したい。
- ・違う国の人と話すことでいろんな価値観を尊重する大切さも学べるので、自分を成長させるためにも国際交流をしてみたい。留学をしたいという気持ちも強くなった。
- ・外国と日本の違いが面白かったし、もっともっと知りたいと思った。また、考え方や話し方の違いも感じたし、言語の壁を越えた先にもっともっと素敵な世界・未来があると心から思った。

●あしがき

意思の疎通に少し苦勞した場面もあったようですが、みなさん自分の思いを伝えようと一生懸命頑張っていました。その気持ちがコミュニケーションにおいては一番大切です。海外に目を向けることにより、自国や自分自身を見つめ直すいい機会にもなったかと思います。アンケート用紙いっぱい書かれた感想を見て、こちらのねらい以上にみなさんがいろんなことを感じ、学び取ってくれたことがわかり、胸がいっぱいになりました。